

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

つなぐ松森

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係は適切であるか	3	2		・現状利用定員とスペースは適切だが、今後の事業所の統合で職員が増え狭くなるため、活動場所等工夫していく。
	②	職員の配置数は適切であるか	1	1	3	・看護師の増員とプラスαの職員体制が理想。体制を整えていく。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	2	1	2	・入り口の段差にスロープを設置している。スロープの屋根や利用者の特性に合わせた台など設置していきたい。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	2	1	2	・全員でしっかりと話し合う時間が足りていないため、計画的に取り組んでいく。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善に繋げているか	2	2	1	・開所初のアンケート調査のため、評価等を業務改善に繋げていく。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	3	1	1	
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	1	2	2	・第三者による外部評価を行っていない。要検討。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	2		3	・外部研修に参加している。他部署との研修ができなかったため今後計画していく。
適切な 支援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	4	1		・アセスメント力の差を改善するよう勉強会を開催していく。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	2	1	2	・作業療法士の意見を踏まえたアセスメントツールの使用に改善していく。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	3	2		・個々の意見も大切にしながら全体で話し合っている。個人に任せられることも多いため改善していく。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	4	1		・五感の刺激を意識し楽しめるプログラムになるよう工夫している。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて課題を決め、細やかに設定して支援しているか	2	2	1	
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	3	2		・送迎の関係や感染防止上必ずしも集団活動ができる状況ではないが、利用者の特性に合わせた最大限の集団活動ができるように計画している。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5			
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	4	1		・当日または翌日の振り返りを徹底している。
⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	3	2		・記録はしているが、支援の客観的検証に至らない事もあるため、検証方法についても検討していく。	

	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	5			
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	3	2		
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議に、その子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	3	2		・担当者も同席できるようにしていきたいが、感染防止もあり児発管のみの出席となっている。リモート等活用できないか要検討。
	㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	4	1		・情報が抜けてしまうこともあるため、直接的な情報共有の仕組みを検討していく。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	4	1		・保護者を通じた連絡体制としているが、十分とは言えないため改善を図っていく。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	3	2		
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	1	3	1	・現在対象者なし。今後に向け準備していく。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センターの専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	1	1	3	
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		2	3	・感染防止の観点から施設通しの交流は難しいが、職員の子供と触れ合う機会を持たた。
	㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか		2	3	
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	4	1		・不十分なところもあるが、連絡帳を活用し、現状で可能な限り共通理解を図るようにしている。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		2	3	
保護者への説明責任等	㉚	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5			
	㉛	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	3	2		・相談に対して職員間で話し合い可能な限りの対応を行っている。
	㉜	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士連携を支援しているか		2	3	・コロナ禍のため実施できなかったが、コロナ禍でも可能な連携支援を検討中。

	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	3	2		・体制を整備し周知を行っているが、苦情対応方法について勉強会等が必要。今後計画していく。
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5			
	③⑤	個人情報に十分注意しているか	4	1		・事業所間での情報のやり取りについて、FAXは適切かなど問題点を話し合い改善を図っていく。
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5			
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか		2	3	・今後コロナ禍でもできる行事は無いか検討していく。
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	1	2	2	・周知が至らないと感じることもあるため、職員の理解も併せて周知方法を検討していく。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	2	1	2	・避難訓練を行えていなかったため、計画を立てて実施していく。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	2	1	2	・不十分。今後計画を立て実施していく。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	5			
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	5			
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	1	3	1	・報告書を作成し共有している。今後情報の蓄積や報告内容等について話し合い改善していく。